

# 私も大切、あなたも大切

## ～多様性を尊重する社会に向けて～

高等学校・3年生

### I プログラムについて

#### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

＝【人権感覚育成のための視点】

資料の読み取りやグループでの話し合い活動を通して、様々な考え方や性のあり方（以下、セクシュアリティ）があることを知り、互いの違いを認め合いながら、価値観、生き方等の多様性を尊重することができるようにする。

◇関連する個別の人権課題「様々な人権問題（性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ）」

#### 2 関連する教科等について

##### ○ホームルーム活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（エ 青年期の悩みや課題とその解決）

#### 3 人権教育上の視点

- （1）多様な考え方やセクシュアリティを尊重しようとする。（価値・態度）
- （2）価値観や生き方等の多様性を尊重する社会を形成するために必要なことを考えることができる。（技能）

### II アクティビティーについて

#### 1 概要

##### ○活動1

グループ活動を通して、価値観の多様性の尊重について考える。

##### ○活動2

グループ活動を通して、セクシュアリティの多様性の尊重について考える。

##### ○活動3

個人活動やグループ活動を通して、セクシュアリティの多様性を尊重する社会について考える。

##### ○活動4

本時の学習の振り返りをする。

## 2 準備するもの

- 学習資料
- ワークシート1、2
- 振り返りシート
- 付箋

## 3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「ランキング」
  - ① 個人でワークシート1のランキングに取り組む。
  - ② グループ内でランキングの理由について意見交換する。
- 活動2 「セクシュアリティの多様性」
  - ① 学習資料の資料②を参考に、グループでワークシート2を記入する。
  - ② グループで、セクシュアリティの組み合わせが何通り考えられるかについて話し合う。
- 活動3 「セクシュアリティの多様性を尊重する社会」
  - ① どのようなセクシュアリティの人も安心して生活するために必要なことを、各自で付箋に書き出す（学級の実態に応じてペアワークで行ってもよい）。
  - ② グループで付箋を分類し、分類ごとにタイトルを付ける。
  - ③ 全体でグループごとに発表する。
- 活動4 「振り返り」
  - ① 活動を通して感じたこと、気付いたことを振り返りシートにまとめる。

## 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 個人の考え方の多様性と同様に、セクシュアリティの多様性についても尊重されるべきであることを理解させるようにする。
- セクシュアリティの多様性について考えさせる際は、性的マイノリティ（少数者）についてではなく、全ての人が多様なセクシュアリティを構成する1人であり、全ての人に関わる問題としてとらえさせる。
- 生徒個人がどのようなセクシュアリティであるのかは、「分からない」「決められない」「決めたくない」等の思いをもつ生徒や秘匿にしたい生徒もいるので、発表させたり、紙に書かせたりしない。

第1章 理論編  
 第2章 事例編  
 人間の尊厳  
 生命尊重  
 自己尊重の感情  
 共感と連帯感  
 公平・公正  
 多様性の尊重・共生  
 コミュニケーション  
 権利と責任  
 参加・参画  
 第3章 資料編

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
7分	1 ランキング「あなたにとって大切なものは？」 T グループで自分のランキングとその理由を発表しましょう。 T 特定のランキングだけが正しいと言われたらどのように感じますか。 S 特定の考え方を押し付けられるのは嫌だ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランキングとその理由について意見交換することで、人によって様々な考え方があることを実感できるようにする。</li> <li>・考え方の多様性を否定される場面を想起させることで、自分の考えはもちろん、他の人の考えも尊重されることの大切さに気付けるようにする。</li> </ul>
38分	2 セクシュアリティの多様性についての話し合い T 学習資料の資料②を参考にして、グループでワークシート2を完成させましょう。 T グループでセクシュアリティの組み合わせは何通り考えられるか、話し合ってみましょう。 S 資料②の図には12通りある。 S 人によって様々であり、人の数だけ組み合わせはある。 T 正しいセクシュアリティを一つに決めることはできますか。 S 人の考え方と同じで、一つだけに正解を決めることはできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料②を参考にしてワークシート2に記入させることで、セクシュアリティの多様性に気付くことができるようにする。</li> <li>・「認識できない人」「揺れている人」「変わる人」もいるように、<u>セクシュアリティは「男」「女」の2区分だけではなくグラデーションのように個人で異なることを説明する。(☆)</u></li> </ul> ☆以下のような図を示しながら説明してもよい。 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">性的指向</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">女</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 2px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -100%); font-size: 2em;">?</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">男</div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">性自認</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">女</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 2px solid black; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -100%); font-size: 2em;">?</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">男</div> </div> </div> </div> <p>◎セクシュアリティの多様性を尊重することの大切さに気付くことができるように、自分も多様なセクシュアリティを構成する一人であることや、1の活動を例に出しながら説明する。(価値・態度)</p>

	<p>3 多様性を尊重する社会についての話し合い</p> <p>T どのようなセクシュアリティの人も安心して生活できる環境や社会をつくるために必要なことは、何でしょうか。付箋に書き出しましょう。</p> <p>T グループで、各自が書いた付箋を分類し、分類ごとにタイトルをつけましょう。</p> <p>T グループで出た意見を発表しましょう。</p> <p>S タイトル：「個人でできること」 個人のセクシュアリティを否定するような発言をしないようにする。</p> <p>S タイトル：「社会でできること」 社会全体で様々な性のあり方の人たちがいることを前提として、対応や環境づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えがまとまらずなかなか書けない生徒には、思いつくままに自由に書き出してよいと助言する。</li> <li>・学級の実態に応じて、ペアワークで行ってもよい。</li> <li>・他者の意見を肯定的に受け止めながら、自由に発言して活動を進めるよう指示する。</li> </ul> <p>◎多様性を尊重する社会の形成のために必要なことを考えることができるようにするため、個人でできるレベルのことや、社会全体で取り組むこと等、様々な角度から考えるよう助言する。(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正解を導き出すのではなく、各グループからより多くの意見を発表させるようにする。</li> <li>・各発表に対しては拍手を促したり、称賛をしたりすることによって、考え、発表し、聞く活動が重要であったことを理解させる。</li> </ul>
<p>5分</p>	<p>4 本時の振り返り</p> <p>T 今日の授業で感じたこと、気付いたこと等を振り返りシートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で発表させたり、振り返りの内容をまとめたものを後日配布したりすることで、個人の学びを全体の学びに広げる。</li> </ul> <p>※最後に、以下の内容を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホモ」「レズ」などの省略形や、「おかま」「おねえ」などの言葉は差別的な意味合いを含んでいること。</li> <li>・カミングアウトの強制やアウティング（本人の許可なく他者に本人のセクシュアリティを伝えてしまうこと）をしないこと。</li> </ul>

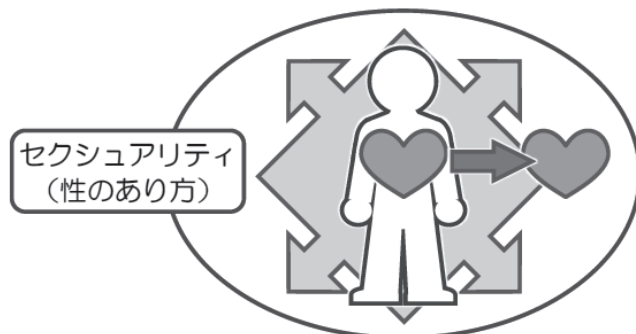
## IV 資料

### (1) 学習資料

#### 資料①

### セクシュアリティの4つの要素

身体の性別だけではない、その人自身の性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。  
セクシュアリティは、人間一人ひとりの人格に不可欠な要素の集まりです。その要素は、主に〈こころの性〉〈からだの性〉〈好きになる性〉〈表現する性〉の4つの要素で考えられます。



#### 〈こころの性〉

自分で自分自身の性別をどのように認識しているかという「**性自認**」を意味します。



#### 〈からだの性〉

外性器・内性器・性腺・染色体の状態や、性ホルモンのレベルなどから定められます。



#### 〈好きになる性〉

恋愛や性愛の対象となる性を表す「**性的指向**」(×嗜好・志向) のことです。自分で選んだものではありません。



#### 〈表現する性〉

服装や行動、振る舞いに、どのような性らしさが含まれるかを表します。



これらの性は「男性」と「女性」と2つに分けて考えがちですが、現実には、明確に「男性」「女性」の2つに分けることができないものです。

たとえば、〈こころの性〉〈好きになる性〉〈表現する性〉については、「男性」「女性」だけでなく「両方」「中間」「どちらでもない」などということもあります。〈からだの性〉については、「男性」であっても「女性」であっても、様々な体の発達状態の人がいます。

また、自分のセクシュアリティが、認識できない人、揺れている人、変わる人もいます。

このように、セクシュアリティは多様で、グラデーションのようなもの、一人ひとり異なるものです。

こころの性	男	女
からだの性	男	女
好きになる性	男	女
表現する性	男	女

これらの枠組みにあてはまらない人もいます

〈こころの性〉 × 〈からだの性〉 × 〈好きになる性〉 × 〈表現する性〉 = セクシュアリティ

資料②

### セクシュアリティの多様性

セクシュアリティのそれぞれの要素について、便宜上、仮に「男性」と「女性」に二分したとしても、下図のようにたくさんのセクシュアリティが存在します。実際はこの図よりも更に多様なものです。

こころの性

からだの性

好きになる性

これらの枠組みにあてはまらない人もいます

**セクシュアリティの例**

- ◆ **異性愛（ヘテロセクシュアル）**  
〈こころの性〉と〈好きになる性〉が異なること
- ◆ **同性愛（ホモセクシュアル）**  
〈こころの性〉と〈好きになる性〉が同じこと  
〈こころの性〉が女性で〈好きになる性〉も女性の人…**レズビアン**  
〈こころの性〉が男性で〈好きになる性〉も男性の人…**ゲイ**
- ◆ **両性愛（バイセクシュアル）**  
〈好きになる性〉が異性の場合も同性の場合もあること
- ◆ **トランスジェンダー**  
〈こころの性〉と〈からだの性〉が一致しないこと  
〈こころの性〉が女性で〈からだの性〉が男性の人…**MTF (Male to Female)**  
〈こころの性〉が男性で〈からだの性〉が女性の人…**FTM (Female to Male)**  
\*一定の医学的基準にあてはまる場合……**性同一性障害(診断名)**
- ◆ **シスジェンダー**  
〈こころの性〉と〈からだの性〉が一致していること
- ◆ **Xジェンダー**  
〈こころの性〉が男女のどちらにも定まらないこと
- ◆ **性分化疾患**  
〈からだの性〉の発達が通常とされる状態とは異なること  
現在は医学的検査を受けて男性/女性に判別される
- ◆ **無性愛（アセクシュアル）**  
他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かないこと
- ◆ **クエスチョニング**  
自分のセクシュアリティが分からないこと、決められないこと、あえて決めないこと

「ホモ」「レス」「オカマ」「オナベ」「おんなおとこ」「おとこおんな」といった言葉は、差別的な意味合いを含みます。呼称だけでなく、性的マイノリティ（LGBT）を「いないもの」とした冗談や無意識の発言に、発した本人に差別的な意思がなくても傷つく人がいるということを、心に留めておく必要があります。

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字を取って**LGBT**といいます。  
この4つ以外のセクシュアリティも含めたセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称としても用いられることがあります。

「平成28年度新たな人権課題に対応した指導資料」（P27・28）  
（埼玉県教育局市町村支援部人権教育課）



## 2 様々な性のあり方（セクシュアリティ）

### ●性自認について

トランスジェンダー	〈こころの性〉に対し [ ] の性] に違和感をもつこと。 生まれた時にあてがわれた性を越えて生きること。 ※一定の医学的基準にあてはまる場合：「[ ]」 (診断名)
シスジェンダー	〈こころの性〉に対し [ ] の性] に違和感をもたないこと。 生まれた時にあてがわれた性のまま生きること。

### ●性的指向について

同性愛 (ホモセクシュアル)	〈こころの性〉に対し〈好きになる性〉が [ ] であること。 女性同性愛を [ ]、男性同性愛を [ ] という。
異性愛 (ヘテロセクシュアル)	〈こころの性〉に対し〈好きになる性〉が [ ] であること。
両性愛 (バイセクシュアル)	〈好きになる性〉が [ ] の場合も、[ ] の場合もあること。 「好きになる相手の性別は問わない」という意味で用いる人もいる。
無性愛 (アセクシュアル)	〈好きになる性〉が [ ]、もしくはどこにも向かないこと。

### (4) 振り返りシート

**振り返りカード**

氏名 ( )

今日の授業で感じたこと、気付いたこと等を記入しましょう。

## V 出典・参考資料

- 「平成28年度新たな人権課題に対応した指導資料」（平成29年3月）  
埼玉県教育局市町村支援部人権教育課